

公共交通戦略の推進

公共交通戦略の概要

■ 目的

都市の成長・魅力向上や、府民の暮らしの充実を図るため、公共交通に関する取組みの方向性を明示

■ 取組みの方向性（3つの柱）

1. 鉄道ネットワークの充実
2. 公共交通の利便性向上
3. 公共交通の利用促進

1. 鉄道ネットワークの充実

○大阪・関西のさらなる成長のため、一定の公共交通ストック、魅力ある資源（商業・観光）の集積を活かしつつ、「都市機能の強化」、「関西の連携強化」、「観光集客」などの観点から鉄道ネットワークの充実を図る

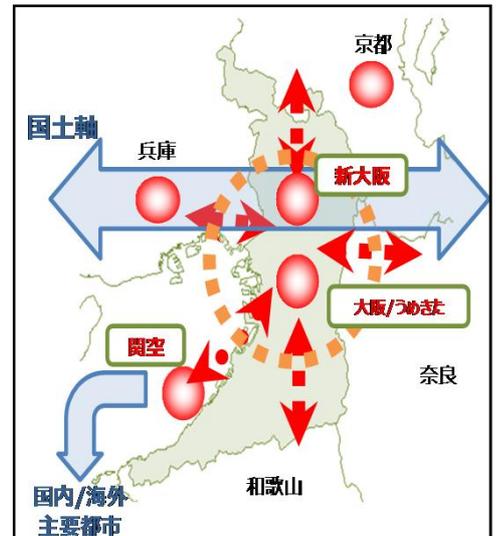
（取組みイメージ）

◆広域拠点へのアクセス性を向上

* アジアと日本各地をつなぐ関西国際空港や、大阪・関西の代表的なターミナル駅である新大阪、大阪（うめきた）などへのアクセス性向上を図る

◆都市間の連携強化、観光地へのアクセス性を向上

- * 大阪周辺都市や府内における地域間の連携を強化する
- * 観光地へのアクセス性の向上を図る



◎大阪の鉄道ネットワークを形成する路線のうち、料金収入により運営費を賄うことができるものとして、今後、事業実施の可否について個別に検討が必要な路線として「戦略4路線」を位置付け

《戦略4路線》

- 北大阪急行延伸
- 大阪モノレール延伸
- なにわ筋線
- 西梅田十三新大阪連絡線

2. 公共交通の利便性向上 / 3. 公共交通の利用促進

○利用者の視点にたった乗継ぎ時の移動負担の軽減や情報案内の充実などにより、さらなる利便性の向上を図る

○観光・商業・まちづくりなど、様々な主体と連携した取組みや啓発活動等により、公共交通の利用機会の増加を促す

（取組みイメージ）

<移動の負担軽減>

- ・駅前広場の整備、駅へのアクセスの充実
- ・乗継駅における駅機能の充実



<ネットワークの充実・強化>

- ・相互直通運転の実施

<情報提供>

- ・乗継案内情報の充実



<利用しやすい運賃>

- ・料金負担の軽減

<利用促進>

- ・交通環境学習や利用促進キャンペーンの実施
- ・観光や地域のにぎわいづくりと連携した利用促進



<安全の確保>

- ・鉄道の連続立体交差の整備
- ・鉄道駅耐震補強、可動式ホーム柵設置

